

令和元年10月7日

船橋市長 松戸 徹 様

船橋市リハビリセンター
運営委員会 委員長 鳥海 正明

船橋市リハビリセンターの平成30年度事業報告並びに中期目標達成状況の評価について（報告）

船橋市リハビリセンター運営委員会設置要綱第2条第3号により、本委員会において、平成30年度事業報告に基づき、中期目標達成状況の評価を行った。
その評価については別紙のとおりである。

船橋市リハビリセンター 中期目標達成状況評価

1. 採点基準及び評価について

第2次中期目標達成状況評価の作成にあたっては、事務局において各目標の仮評価を行うものとし、それぞれに4段階の採点を行った。採点の基準及び評価は以下の通りである。

【評価】

- S・・・目標が高いレベルで達成されている
- A・・・目標が達成されている
- B・・・目標が概ね達成されている
- C・・・目標が達成されていない

【各目標の評価基準】

I 外来患者について

目標1 利用者アンケートによる患者満足度

<リハビリセンターの利用に関する項目>

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

<リハビリの効果に対する期待度の項目>

各年度の目標値から算出した「良くなる・現状が維持できる」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

II 通所リハビリ利用者について

目標2 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

目標3 介護職員の総数のうち、介護福祉士の占める割合100分の50以上

目標4 利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

各年度の目標値から算出した達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

目標5 利用者アンケートによる患者満足度

<リハビリセンターの利用に関する項目>

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

<リハビリの効果に対する期待度の項目>

各年度の目標値から算出した「良くなる・現状が維持できる」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

Ⅲ 訪問リハビリ利用者について

目標6 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

目標7 利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

各年度の目標値から算出した達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

目標8 利用者アンケートによる患者満足度

<リハビリセンターの利用に関する項目>

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

<リハビリの効果に対する期待度の項目>

各年度の目標値から算出した「良くなる・現状が維持できる」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

Ⅳ 訪問看護利用者について

目標9 利用者アンケートによる患者満足度

Ⅴ リハビリ事業利用者について

目標10 利用者アンケートによる満足度

各年度の目標値から算出した「満足・やや満足」の件数に対し、達成率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

目標 1 1 診療所部門 経常収支比率

目標 1 2 訪問看護部門 経常収支比率

各年度の目標値から算出した執行率が

- S … 105%以上となっている。
- A … 100%以上、105%未満となっている。
- B … 80%以上、100%未満となっている。
- C … 80%未満となっている。

目標 1 3 毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行なう

- S … 各年度の行動計画以上の事業を実施した。
- A … 各年度の行動計画どおりの事業を実施した。
- B … 各年度の行動計画にある事業は実施したが回数が少なかった。
- C … 各年度の行動計画にある事業が実施できなかった。

2. 平成30年度目標・実績・評価について

1. 利用者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項

I 外来患者について

目標1 利用者アンケートによる患者満足度

評価： S

外来患者の満足度調査においては、調査項目全てが目標値を超える結果となり、高いレベルで目標が達成されていた。

職員の対応においては「満足」が100%となっていることは、法人内の接遇研修等の成果が表れたものと評価できる。

今後も患者の高い満足度が維持できるように、引き続き取り組んでいきたい。

II 通所リハビリ利用者について

目標2 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

評価： S

通所リハビリを終了した者82人中、リハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施した者は26人、達成率は31.7%と、前年度と同様に目標値（5%以上）を大きく上回る結果となった。

今後も、利用者にとって質の高い通所リハビリテーションの提供を行っていただきたい。

目標3 介護職員の総数のうち、介護福祉士が占める割合100分の50以上

評価： S

全体の介護職員3人のうち介護福祉士は3人であり、介護福祉士の占める割合は、100%となった。

引き続き、中重度の要介護者や認知症高齢者に対応できるケア体制を維持していただきたい。

目標4 利用者に直接提供する職員のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

評価： S

勤続年数3年以上の者は、全体の職員数22人のうち21人で、95.5%となり、目標値の30%を大きく上回る結果となった。

質の高いリハビリを実施するため、引き続き職員の確保に努めていただきたい。

目標5 利用者アンケートによる患者満足度

評価： S

全ての項目において、それぞれ「満足」と「やや満足」を足した割合が80%以上、「満足」の割合がいずれも60%以上と目標値を高く上回る結果となった。

また、昨年度と比較しても、すべての項目において数値を上回る結果となった。

今後も患者の高い満足度が維持できるように、引き続き同様の取り組みを実施していただきたい。

Ⅲ訪問リハビリ利用者について

目標6 各利用者がリハビリテーションマネジメントにおいて設定した目標の達成率

評価： S

訪問リハビリを終了した者111人中、リハビリテーションマネジメントにおいて目標とした取り組みを実施した者は35人、達成率は31.5%と目標値（5%以上）を大きく上回る結果となった。

引き続き利用者の目標を達成できるよう質の高い訪問リハビリテーションの提供を行っていただきたい。

目標7 利用者に直接提供する理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士のうち、勤続年数3年以上の者の占める割合100分の30以上

評価： S

利用者に直接提供する各職種のうち、勤続年数3年以上の者の割合は、理学療法士では11人のうち10人、作業療法士では5人のうち5人、言語聴覚士では2人のうち2人となっており、計18人のうち17人、94.4%となり、目標を高く上回る結果となった。

引き続き同様の取り組みを継続していただきたい。

目標 8 利用者アンケートによる患者満足度

評価： A

訪問リハビリの利用者満足度については、目標値を上回る結果となった。

しかし、「リハビリテーションの質・技術について」の項目を見ると、満足割合が目標を下回っており、アンケートには、「やや不満」との回答もあるため、利用者の意見を傾聴するなど、その理由について分析し、今後の改善につなげていただきたい。

IV 訪問看護利用者について

目標 9 利用者アンケートによる患者満足度

評価： S

全ての項目において、目標値を大きく上回っていた。

訪問看護職員の採用に苦慮する中、訪問スケジュール調整においても、利用者の便宜を図るなど利用者のニーズに沿った取り組みを行っていた。

また、昨年度と比較しても、ほぼ全ての項目において数値を上回る結果となった。

引き続き、同様の取り組みを続けていただきたい。

V リハビリ事業利用者について

目標 10 利用者アンケートによる満足度

評価： S

リハビリ事業利用者への満足度について、「プールリハビリについて」の「満足のみ割合」を除き、目標値を上回る結果となった。

「プールリハビリについて」も、「満足」と「やや満足」を足した割合については、昨年度よりも数値が高く、満足度が向上していた。

引き続き、利用者の声を傾聴し、さらなる満足度向上に取り組んでいただきたい。

2. 財務内容の改善に関する事項

目標 1 1 診療所部門 経常収支比率

評価： B

平成30年度においては、91.5%と目標値（100%以上）を達成することができなかった。

しかし、センタークリニックの取組みにより、昨年度に比べ診療実績を伸ばしており、また法人内での人事異動を可能にする等、費用の削減に努め、目標達成に向け努力していたことは評価できる。

令和元年度は、目標達成に向けて安定的な経営に努めていただきたい。

目標 1 2 訪問看護部門 経常収支比率

評価： B

平成30年度においては、85.2%と目標値（100%以上）を達成することができなかった。

しかし、年々訪問看護の実績は伸びており、今後の利用者の増加も期待できる。

令和元年度は、目標達成に向けて安定的な経営に努めていただきたい。

3. その他管理に関する重要事項

目標 1 3 毎年度実施計画を立て地域リハビリテーション拠点事業を行う

評価： S

計画に掲げる事業を全て実施していた。

中でも「リハビリ関係者向け研修会」については、年3回の計画のところ実績では年16回開催していた。また、研修会参加者のアンケート結果では、研修内容について「とても良い」「良い」と回答した方が96%おり、非常に好評を得ていることが伺える。

今後も多くの方にリハビリテーションを普及啓発できる事業を実施し、地域リハビリテーションの推進に努めていただきたい。